

令和5年度 組織・機構改革（局再編成）の検討状況について

1 背景

約3年間にわたる新型コロナウイルス感染症対応においては、健康危機管理として、積極的疫学調査から病床確保、入院調整、ワクチン接種推進など多岐にわたる対応が求められる中、全庁一丸となって、市民の皆様の生命の安全の確保に取り組んでまいりました。また、行動制限が繰り返される中においても、地域におけるスポーツ・文化活動の継続、横浜マラソンや横浜トリエンナーレなど、横浜の魅力を発信する事業を工夫しながら実施することにより、賑わいの灯を絶やさない努力を重ねてまいりました。

今後のポストコロナ社会を見据え、「平時から新興感染症発生時まで、市民の皆様が安心・安全・健康に生活できる環境づくり」を行うとともに、「地域に根差したスポーツ・文化活動の更なる振興を通じた、地域コミュニティの活性化」、「横浜の魅力を発信し、人と企業が集い、賑わいと活力あふれるまちづくり」を更に推進していくため、局再編成について検討を進めています。

2 局再編成の検討状況 ※詳細は別紙をご参照ください。

(1) 保健所・医療分野の連動による健康危機管理への機動的な対応

【目指す姿】

- ・新興感染症（新型コロナ含む）に対する保健所の対応と病床確保、入院調整などを一つの局で機動的に運用
- ・市内医療機関等の医療ネットワークとの連携強化
- ・健康危機管理体制の一元化により、区と区内医療関係団体の連携強化など、区の実情に応じた支援を推進

【検討の方向性】

- ・保健所機能を医療局へ移管し、健康危機管理体制の一元化を図ります。
- ・健康危機管理における企画戦略機能を強化します。
- ・総括・医療政策の部門から、医療政策の部門を分離し強化します。

(2) 地域コミュニティの活性化と賑わい創出による市内経済の活性化及び地域支援機能等の更なる充実

【目指す姿】

- ・地域に根差したスポーツ・文化活動の更なる振興を通じた、心豊かな生活の実現と地域コミュニティの活性化
- ・「都市整備局の都心臨海部のまちづくり」と連動した都心臨海部の賑わいの創出と、来街者の市内回遊性向上
- ・市民の声をもとに、地域支援・区政支援を軸とした市民活動の総合的支援と区役所機能の強化

【検討の方向性】

- ・スポーツ機能を市民局から移管し、スポーツ・文化・観光 MICE 施策の推進体制の一元化を図ります。
- ・地域支援・区政支援機能の更なる充実に向けて、市民局の機能を強化します。

3 今後のスケジュール（予定）

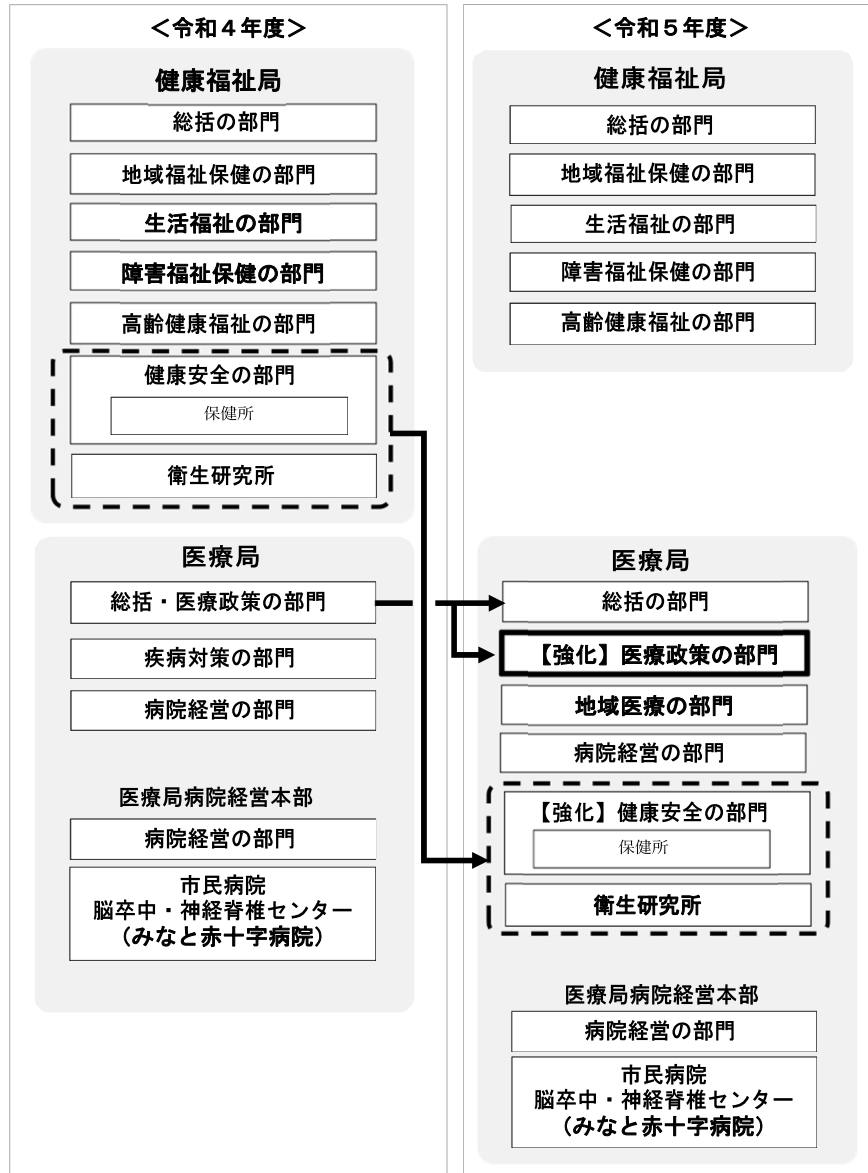
令和5年1～3月	第1回定例会（事務分掌条例他、関係条例改正議案の提出）
同 2～3月	新組織設置準備（規則改正等）
同 4月	新組織の設置

【再編案1】

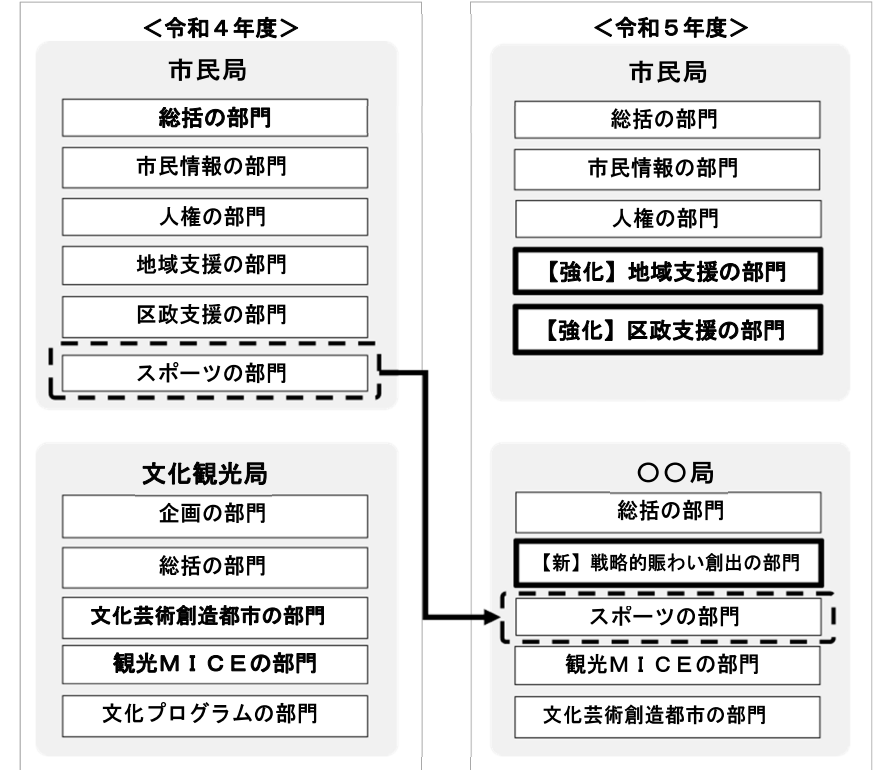
保健所・医療分野の連動による健康危機管理への機動的な対応

【再編案2】

地域コミュニティの活性化と賑わい創出による市内経済の活性化
及び地域支援機能等の更なる充実



※大枠の内容を示したものであり、局内組織の体制については、今後更なる調整を進めます。



※大枠の内容を示したものであり、局内組織の体制については、今後更なる調整を進めます。